

平成26年度
事業報告書

自 平成26年 4月 1日
至 平成27年 3月31日

社会福祉法人信達福祉会 法人本部
特別養護老人ホームあつかし荘
総合老人福祉施設梁川ホーム
特別養護老人ホーム・デイサービス川俣ホーム

事業報告書 目次

I 法人本部事業報告

- 1 会務運営状況
- 2 本部事業

II 各施設事業報告

- 1 あつかし荘
 - (1) 特別養護老人ホームあつかし荘
あつかし荘短期入所生活介護（ショートステイ）
- 2 梁川ホーム
 - (1) 梁川ホーム全事業
 - (2) 特別養護老人ホーム梁川ホーム
 - (3) 梁川ホーム短期入所生活介護（ショートステイ）
 - (4) ケアハウス広瀬
 - (5) 梁川ホーム通所介護（デイサービスセンター）
 - (6) 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所
 - (7) 伊達市梁川地域包括支援センター
- 3 川俣ホーム
 - (1) 川俣ホーム全事業
 - (2) 特別養護老人ホーム川俣ホーム
川俣ホーム短期入所生活介護（ショートステイ）
 - (3) 川俣ホーム通所介護（デイサービスセンター）
- 4 被災、避難高齢者の受け入れ状況

III 各施設利用状況等

添付資料

各施設事業月別入所・利用状況

I 法人本部事業報告

1 会務運営状況

(1) 評議員会の開催（3回）

日時	平成26年 5月27日（火）午後2時
場所	梁川ホームケアハウス広瀬 出席評議員数15名、出席監事数2名
議案	25年度事業報告、決算報告 等
日時	平成26年12月24日（水）午後2時
場所	梁川ホームケアハウス広瀬 出席評議員数13名
議案	26年度拠点区分補正予算 等
日時	平成27年 3月25日（水）午後2時
場所	梁川ホームケアハウス広瀬 出席評議員数11名
議案	諸運営規程の一部改正、補正予算、27年度事業計画、当初予算 等

(2) 理事会の開催（5回）

日時	平成26年 4月 1日（火）午前10時
場所	梁川ホーム家族介護者教育室 出席理事数7名、出席監事数2名
議案	理事長の互選、常務理事の任命 等
日時	平成26年 5月28日（水）午前10時
場所	梁川ホーム家族介護者教育室 出席理事数8名、出席監事数2名
議案	定款の一部改正、25年度事業報告、決算報告 等
日時	平成26年 8月 5日（水）午後 1時30分
場所	福島ビューホテル2階 雅 出席理事数7名、出席監事数2名
議案	契約の締結 等
日時	平成26年12月25日（木）午前10時
場所	梁川ホーム家族介護者教育室 出席理事数7名、出席監事数2名
議案	臨時雇用職員管理規程の一部改正、26年度補正予算、契約の締結 等
日時	平成27年 3月26日（木）午前10時
場所	梁川ホーム家族介護者教育室 出席理事数8名、出席監事数2名
内容	諸運営規程の一部改正、補正予算、移行時特別積立金及び移行時特別積立資産の取り崩し、27年度事業計画、当初予算、苦情解決委員会第三者委員の選任、契約の締結 等

(3) 監事会の開催

日時	平成26年 5月13日(火) 午前10時
場所	梁川ホーム家族介護者教育室 出席監事数2名
内容	(1) 事業報告 (2) 財産目録 (3) 貸借対照表 (4) 収支計算書 (5) 事業活動計算書

(4) 役員研修会

日時	平成26年 8月 5日(水) 午後2時
場所	あつかし荘、梁川ホーム、川俣ホーム 出席理事数8名、出席監事数2名
内容	法人3施設見学研修

(5) 苦情解決委員会

日時	平成26年 7月 1日(火) 午後2時30分
場所	ケアハウス広瀬食堂 出席委員(第三者委員)5名
議案	25年度事業報告、26年度事業計画

2 本部事業

(1) 人事考課制度

職員の能力開発と組織の活性化のための人事考課制度を運用し、職員自らが行う職務分析、目標の達成過程を重視した目標管理考課、能力や執務態度及び職務行動の分析等を通して、職員育成や人事異動など、能力・実績を重視した人事管理を推進した。

(2) サービス評価事業

施設内の自己評価及び他施設委員による評価を実施し、提供サービス及び組織運営等の現状と課題を把握して改善計画を作成した。そのうち重要課題は新年度事業計画の重点事項に位置づけ、事業所、法人全体の改善の取り組みとした。なお、サービス評価委員には継続して若手職員を充て、法人内他施設のサービス提供内容等を学び、自らの施設のサービスや組織運営に生かすなど、若手職員の学習機会としてとらえ人材育成の一端をなした。

(3) 栄養ケア・マネジメントの推進

三施設に管理栄養士を配置し、多職種協働による栄養ケア・マネジメント体制を整え、利用者の食事摂取量のほか咀嚼や嚥下状況、体重やBMI等の把握を通して、利用者各人に最適な栄養ケアを行った。また、共通献立のさらなる充実を図るとともに、栄養士が相互に支援しあう体制を継続した。

(4) 新会計基準の適切な会計処理

新会計基準による会計業務の技能向上、一層の習熟に努め、迅速かつ合理的な事務処理に努めた。

(5) 利用者の権利擁護とリスクマネジメント、認知症介護の支援

法人職員研修資料の配付等を通じて、人権意識の啓発とリスクマネジメント活動（感染症対策を含む）の定着及び認知症介護の標準化に向けた各施設・事業所の取り組みを支援した。

(6) 職員の人材育成

法人キャリアパス要件に基づき、研修の実施並びに個別育成計画の作成を継続した。また、県社会保険労務士会による労働条件審査・診断を受審し、適切な労務管理上の文書整理を図った。あわせて各施設にメンタルヘルス相談窓口を置き、職員からの相談を受け付けるとともに、各施設の保健衛生体制（腰痛予防対策を含む）を継続し、働きやすい職場づくりに努めた。

(7) 法人経営基盤の安定化

稼働率は月ごとに、収支状況は四半期ごとに確認し、法人、各施設の資金・財産の適正管理を行った。また、平成27年度施行の介護保険報酬改定に伴い諸運営規程の一部を改正し、居住費（滞在費）を改めた。

(8) 人材確保

各施設の介護福祉士養成校等の実習受け入れを支援し、適切な指導を行うとともに、「福祉の職場合同就職説明会」等へ参加し、通年で人材確保の取り組みを進めた。また、臨時雇用職員の定年後再雇用の処遇を見直し、臨時雇用職員管理規程の一部を改正、臨時雇用職員がより長く働きやすい就業体制を整えた。

(9) 課長等会議の開催

利用者支援、介護等に関する共通案件や要綱の作成、人事考課制度の運用、法人一括購入等について、法人本部及び各施設の課長等で協議、検討、情報交換を行い、適切なサービス提供並びに経営管理の健全化を図った。

(10) 喀痰吸引等体制の支援

課長会議等で随時実施状況を把握し、課題を共有しながら、法人内で実地研修を継続開催し、安全・適切な吸引ケア等の実施に努めた。

Ⅱ 各施設事業報告

1 あつかし荘

(1) 特別養護老人ホームあつかし荘・あつかし荘短期入所生活介護

- ①人事考課制度導入に向けた職員への周知と理解を目的に、内部研修会を開催し職員相互に理解を深めた。また、個別目標設定や面談により、職位により求められる課題を把握し、個人の課題達成に向けた支援に努めた。
- ②リスクマネジメント委員会を中心に、「ヒヤリ・はっと」提出を促し、そこから考えられる危険を把握し、安全な施設環境作りに全職員で取り組むことができた。
- ③認知症介護委員会を中心に内部研修会を開催し、認知症高齢者への理解及び関わり方のポイントについて、職員間で再認識し、認知症ケアの知識習得の充実に努めた。
- ④看取り期における家族の意向を伺い、医師との連携を密に多職種協働により、利用者の身体状況に応じた適切なケアを実施し、看取り期におけるその人らしい生き方・旅立ちをご家族と共に支援することができた。
- ⑤多職種協働による栄養ケア・マネジメントを行い、利用者の心身状態及び嗜好を把握し、利用者の栄養状態改善に向けたソフト食の提供により、いつまでも口から食べることのできる、より安全な食事提供につなげることができた。
- ⑥円滑な入所を進めるため、空床発生時は待機者の状態確認や他事業所との連携を図り、速やかな入所につなげることができた。
- ⑦法人内外及び地域への情報発信を目的に、ホームページにより行事・余暇活動等の情報を積極的に更新し、地域への情報発信に努めた。
- ⑧利用者一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を目的に、接遇研修会を開催し、日常の言動を振り返る機会を多く持ち、利用者及び家族に満足して頂けるような対応に努めた。
- ⑨法人キャリアパス要件に基づき研修計画を策定し、外部研修会に積極的に参加することで、職員の技術向上を図ることができた。

2 梁川ホーム

(1) 全事業

- ①感染症予防のため職員を研修会に派遣、内部研修による衛生管理と衛生教育の徹底を図るとともに、マニュアルの見直しを行い、施設一丸となって感染の蔓延を最小限に抑えることが出来た。
- ②総合老人福祉施設梁川ホームとして学生ボランティアを対象にした認知症サポーター養成講座並びに地域向けの認知症介護教室を開催し、認知症の方を介護するご家族等の相談に応ずるなど、施設の認知症介護の知識を社会に還元する取り組みを推進した。
- ③介護職員の腰部負担を軽減するために、腰痛予防に対する啓蒙活動を展開し、労働衛生教育並びに適切な健康管理に努めた。
- ④安全な環境作りのために、建物の外壁タイル修繕工事を実施した。
- ⑤職員のキャリアアップ支援として、介護支援専門員資格取得のための受験対策講座を定期的で開催し、成果として参加者から合格者を出すことが出来た。

(2) 特別養護老人ホーム梁川ホーム

- ①ケアチームと多職種が協働して、利用者の水分摂取量や食事方法を見直し、日中に運動の機会を取り入れることにより、心身機能の向上、自然な排泄の支援に取り組んだ。また認知症高齢者に対する「見る、話しかける、触れる、立つ」ケアの重要性を学び、利用者の立場からの多面的なアセスメントをもとにした働きかけと症状の改善・緩和に取り組んだ。
- ②協力医療機関、医師と密に連携を図り、定期受診の他、適時の状態報告・病院受診により、利用者の状態変化や疾病の早期発見・早期相談を行うことができ、冬季の感染症シーズンには湿度管理の徹底を図りながら予防対策を講じ、利用者に適宜的確な治療・医療を提供することができた。
- ③毎日の体操を通じた機能訓練による集団リハビリとともに、平行棒を使った立ち上がり動作訓練や歩行器を使った歩行訓練など個別リハビリの充実が図られ、複数の利用者が車椅子から歩行器による歩行が可能となった。また、医務との連携によるシーティング、ベッド上のポジショニング方法の助言・指導により褥瘡の利用者の減少が図られた。
- ④利用者個々の栄養状態、体重の増減、嚥下機能状態を定期的に把握し、栄養管理・食事提供など栄養ケア・マネジメントの充実が図られ、最期まで食べていただける食の提供、生きる喜びの支援に寄与することができた。また外

部研修で習得した正しい知識に基づいた予防実践、厨房の衛生管理の徹底がなされ食中毒防止が図られた。

- ⑤家族と施設の連携を深めるために、施設介護計画（ケアプラン）と栄養ケア計画、機能訓練計画を統一化して運用したことで、支援内容が利用者・家族に分かりやすく伝えられ、多職種連携による効果的・効率的支援が可能になった。取り組みの振り返り・評価方法の検討、マニュアル作成の着手などにより、質と客観性を備えた看取りケアの推進を図り、その成果について、東北ブロック老人福祉施設研修会に発表施設として参加、報告を行った。

（３）梁川ホーム短期入所生活介護（ショートステイ）

- ①利用希望に際してはご利用者の面接、カンファレンスの開催、ご家族、ケアマネへの連絡・相談など関係者との連携を密にし、スムーズに利用していただけるように支援に努め、稼働率アップに繋げることが出来た。
- ②定期的にショートステイ打ち合わせを行うことにより、常に利用状況を把握しながら空ベッドの宣伝や長期利用者の導入などに取り組むことが出来た。

（４）ケアハウス広瀬

- ①認知症の症状が見受けられる利用者が穏やかに過ごせるように職員が他の利用者との中立ちをすることにより、認知症の方に対する理解と対応に協力していただくことが出来た。
- ②状態の低下してきた利用者について、ご家族に理解をいただくとともに、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所との連携のもと、適宜適切に居宅サービスを利用することにより安心して在宅生活を送っていただくことが出来た。
- ③インフルエンザやノロウイルスなど感染症への対策として、利用者へうがい、手洗いの重要性を説明し、マスクの着用などを呼びかけることにより、感染症の侵入を最小限にとどめることが出来た。
- ④一日の中に利用者同士がおしゃべりする機会を設け、一人暮らしに対する不安感が和らぐように努めた。

（５）梁川ホームデイサービスセンター

- ①各居宅介護支援事業所や利用者ご家族にいつでも見学に応じていることを、空き情報やデイサービス便りでお知らせし、ご家族に利用中の様子を見て安心していただくなど、家族への情報発信を行い、利用者増加につながった。
- ②月ごとにテーマを決めてマニュアルを各自読んだり、ひやりハット報告書か

ら該当するマニュアルを探して読み、マニュアルの習得に努めた。12月に骨折事故が起き、フロア内の見守りや車両到着時の対応などを話し合い、再発防止に努めた。

- ③認知症委員会とともに家族介護者教室を開催し、参加されたご家族に認知症を理解していただき、認知症の方への接し方についてアドバイスを行う事が出来た。認知機能訓練としての料理作りは毎回定期的実施し、併せて裁縫や物作りも行い、認知症の進行予防に一定の効果を上げて、ご家族にも連絡帳を通じて積極的に状態をお知らせした。
- ④定期的に来てくださっているボランティアさんの他、新しく茶道や似顔絵、歌や踊りなどのボランティアさんにも来ていただき、利用者様にバラエティーに富んだ楽しみを提供できた。

(6) 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所

- ①事業所内での事例検討を定期で実施し、事例紹介の力とケースの深め方について繰り返し意見交換を行うことで、職員が担当する利用者個々の課題・目標を今まで以上に明確にすることが出来た。
- ②職員が積極的に研修会に参加して介護支援専門員としての知識の強化が出来たことにより、利用者やご家族の意向に沿った満足度の高い支援計画を作成、提供することが出来た。
- ③認知症介護委員会活動に参加し、認知症の知識を地域に発信する活動に積極的に取り組んだ。
- ④地域で生活する高齢者の安全と安心を守る地域ネットワークのための研修会や医師会主催の講演会などに積極的に参加し、知識の蓄積とネットワーク作りを推進するとともに、利用者を支えるネットワークを充実させるための「わたしのカルテ」を活用した情報共有に積極的に取り組んだ。

(7) 伊達市梁川地域包括支援センター

- ①地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、民生委員協議会、居宅介護支援事業所、病院など関係機関との連携に努め、高齢者支援に努めた。
- ②地域におけるネットワーク構築を図ると共に社会資源、ニーズの把握を進め、地域で安心して暮らしていくために必要な情報を、住民の方々にわかりやすい形で提供することが出来た。
- ③健康教室や講習会、地域のサロン会等、地域内の住民活動に積極的に関わり、

地域の介護予防に対する啓発を進めることが出来た。

- ④定期的に市町村の関係機関や、他の地域包括支援センター等と会議・研修会を重ね互いの連携を密にすると共に情報の共有・地域の実態把握に努めた。

3 川俣ホーム

(1) 川俣ホーム全事業

- ①人事考課制度の取り組みにより、職員1人ひとりが個人目標だけでなく、多職種協働で目標達成に向けて取り組み、事業所全体の意識改革を図ることができた。
- ②感染症が懸念される時期においては、利用者・職員・家族・地域の情報収集を密に行ない、感染予防対策および拡大防止に努めた。
- ③積極的な外部研修参加および介護職員の喀痰吸引研修など多職種連携での内部研修を行ない、職員全体の知識・技術向上に努めた。

(2) 特別養護老人ホーム川俣ホーム・川俣ホーム短期入所生活介護（ショートステイ）

- ①満足度調査を継続し接遇に対する意識を高め、利用者との関わりや家族面会時の近況報告を積極的に行ない、信頼関係を深めるように努めた。また、年2回利用者の状態報告を兼ねたお便りを送付し、家族の安心と情報共有を図ることができた。
- ②利用者のみならず職員の健康管理についても留意し、健康診断の結果を再検査者に対し個人的に説明し、二次検査受診を勧めた。
- ③随時入所上位待機者の実態調査を行い、事前準備や調査後も関係機関と連絡を取り合いながら状態把握に努め、円滑な入所支援を進めた。
- ④各居宅事業所と連携を図り、短期入所の円滑な受け入れや送迎時間の配慮を行ない、安定した稼働率維持を図ることができた。
- ⑤介護報酬改定に向けた情報収集を行ない、制度の理解や加算算定の準備を進め、家族や関係機関への説明・周知を行なった。
- ⑥職員や利用者の声を反映させ、季節や時節によって好んで食していた食材を取り入れた献立作成を実施した。またソフト食については、利用者の食べやすい味付けになるよう濃度見直しを行ない満足度向上に努めた。
- ⑦消費税率の改正に伴い、見積もり合わせ等により、低価格の物品を購入し、経費の節減を図った。

(3) 川俣ホームデイサービスセンター

- ①レクリエーション計画、評価の随時見直しを行ない、実施内容と改善点を次回に反映することで、利用者のレクリエーション活動に対する意欲向上を図ることができた。
- ②利用者家族に対するアンケート調査を実施し、家族が在宅介護で知りたい情報や不安に感じていることを把握し、家族の負担軽減を図るように努めた。

4 被災、避難高齢者の受け入れ状況

東日本大震災並びに東京電力福島第一原子力発電所事故により被災、避難され、緊急受け入れとなった高齢者の方のうち、現在もなお施設等に戻ることが困難な1名の方を受け入れている。

Ⅲ 各施設利用状況等

特別養護老人ホーム

事業所名	定員 (人)	延べ利用人数(人)			ベッド稼働率(%)			利用者平均要介護度			営業日数(日)		
		26年度	25年度	前年度比	26年度	25年度	前年度比	26年度	25年度	前年度比	26年度	25年度	前年度比
あつかし荘	50	17,953	18,175	-222	98.4	99.6	-1.2	4.47	4.43	0.04	365	365	0
梁川ホーム	82	29,457	28,657	800	98.4	95.8	2.6	4.30	4.34	-0.04	365	365	0
川俣ホーム	60	21,317	21,442	-125	97.3	97.9	-0.6	4.18	4.20	-0.02	365	365	0
法人計	192	68,727	68,274	453	98.1	97.4	0.6	4.32	4.32	-0.01			

※梁川ホームの定員は、避難高齢者2名を含む。

ショートステイ ※介護予防含む

事業所名	定員 (人)	延べ利用人数(人)			ベッド稼働率(%)			1日平均利用者数(人)			営業日数(日)		
		26年度	25年度	前年度比	26年度	25年度	前年度比	26年度	25年度	前年度比	26年度	25年度	前年度比
あつかし荘	2	797	731	66	109.2	100.1	9.1	2.2	2.0	0.2	365	365	0
梁川ホーム	18	5,275	5,102	173	80.3	77.7	2.6	14.5	13.9	0.6	365	365	0
川俣ホーム	20	6,379	5,544	835	87.4	75.9	11.5	17.5	15.2	2.3	365	365	0
法人計	40	12,451	11,377	1,074	85.3	77.9	7.4	34.2	31.1	3.1			

デイサービスセンター ※介護予防含む

事業所名	定員 (人)	延べ利用人数(人)			稼働率(%)			1日平均利用者数(人)			開所日数(日)		
		26年度	25年度	前年度比	26年度	25年度	前年度比	26年度	25年度	前年度比	26年度	25年度	前年度比
梁川ホームⅠ型	25	6,310	5,939	371	81.9	77.4	4.6	20.5	19.3	1.2	308	307	1
Ⅱ型	12	2,641	2,413	228	71.5	65.5	6.0	8.6	7.9	0.7	308	307	1
川俣ホームⅠ型	20	4,708	4,654	54	76.4	75.8	0.6	15.3	15.2	0.1	308	307	1
Ⅱ型	12	2,581	2,343	238	69.8	63.6	6.2	8.4	7.6	0.7	308	307	1
法人計	69	16,240	15,349	891	76.4	72.5	4.0	52.7	50.0	2.7			

ケアハウス

事業所名	定員 (人)	月初日平均入居者数(人)			稼働率(%)			営業日数(日)		
		26年度	25年度	前年度比	26年度	25年度	前年度比	26年度	25年度	前年度比
ケアハウス広瀬	30	26.5	26.3	0.2	88.3	87.7	0.7	365	365	0
法人計	30	26.5	26.3	0.2	88.3	87.7	0.7			

居宅介護支援事業所

事業所名	要介護認定調査(件)			居宅サービス計画作成の相談依頼(件)			居宅サービス計画作成(件)			介護予防サービス計画作成(件)		
	26年度	25年度	前年度比	26年度	25年度	前年度比	26年度	25年度	前年度比	26年度	25年度	前年度比
梁川ホーム	249	143	106	2,429	2,198	231	2,205	1,978	227			
法人計	249	143	106	2,429	2,198	231	2,205	1,978	227	0	0	0

地域包括支援センター

事業所名	認定調査(件)			相談延べ件数(件)			訪問件数(件)			介護予防サービス計画作成(件)		
	26年度	25年度	前年度比	26年度	25年度	前年度比	26年度	25年度	前年度比	26年度	25年度	前年度比
伊達市梁川地域包括支援センター	0	31	-31	5,942	5,365	577	2,179	2,618	-439	221	215	6
法人計	0	31	-31	5,942	5,365	577	2,179	2,618	-439	221	215	6